



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第12号  
(10月6日～10月20日)

令和5年10月5日発表  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部



ジョナゴールドの収穫は有袋果が10月8日頃、無袋果が10月10日頃から！  
シンクイムシ類などの被害果が混入しないよう選別の徹底を！！  
台風へ備え、風害対策を万全に!!!

## I 概要

10月1日現在の果実肥大は、各品種とも平年並から平年を上回っている。

ジョナゴールドの熟度は、5日程度進んでいることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月8日頃、無袋果が10月10日頃からと見込まれる。

シンクイムシ類など病害虫被害果は健全果に混入しないよう徹底して選別する。

果実疫病の感染を防ぐため、果実に泥が付着しないように注意する。反射資材を片付ける際に土を飛散させたり、収穫した果実は長く野積みをしない。

台風や強風に備え、防風網の点検、補強などの風害対策をしっかりと行う。

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部りんご果樹課
担当者	生産振興グループ GM 小笠原 宜弘
電話番号	直通 017-734-9492 内線 5092
報道監	農林水産部 次長（農商工連携推進監）成田 澄人 内線 4966

## II りんご生産情報

### 1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

#### (1) 果実肥大

各品種とも平年並から平年を上回っている。

○果実肥大 (10月1日現在、横径cm、平年比%)

地 域	年	ジョナゴールド	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	9.3	8.4
	平 年	9.1	8.5
	前 年	9.3	8.8
	平年比	102	99
青森市浪岡北中野 (東青地域県民局)	本 年	-	8.3
	平 年	-	8.2
	前 年	-	8.9
	平年比	-	101
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本 年	8.7	8.9
	平 年	8.9	8.5
	前 年	9.3	8.3
	平年比	98	105
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本 年	-	9.6
	平 年	-	8.5
	前 年	-	8.8
	平年比	-	113
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本 年	8.9	9.0
	平 年	8.8	8.3
	前 年	8.9	8.5
	平年比	101	108

注) 各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

#### (2) 果実熟度

##### ア ジョナゴールド (無袋)

10月1日現在、黒石では平年と比較して、糖度は高く、着色指数は同程度、硬度及びヨード反応指数はやや低く、酸度は低い。総合的に見て、熟度は平年よりも進んでいると見込まれる。

○ジョナゴールド (無袋) の熟度の進み (調査月日：10月1日)

地 域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (ポイント)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード反 応指数
黒 石 (りんご 研究所)	本年	331	1.6	15.4	13.7	0.484	2.5
	平年	323	1.7	15.9	13.0	0.552	2.9
	前年	344	2.3	15.3	12.9	0.546	2.8

注1 平年：2001年～2020年の20か年平均

2 着色指数：0～5 (大きい数値ほど着色良好)

3 ヨード反応指数：ヨード反応指数0～5 (小さい数値ほどでんぷんが少ない)

## イ ふじ

10月1日現在、無袋ふじは平年と比較して、糖度は高く、着色指数はやや低く、硬度、酸度及びヨード反応指数は低い。総合的に見て、熟度は平年よりも進んでいると見込まれる。

有袋ふじは平年値と比較して、糖度は高く、着色指数は同程度、硬度、酸度及びヨード反応指数は低い。総合的に見て、熟度は平年よりも進んでいると見込まれる。

### ○ふじ（無袋）の熟度の進み

（調査月日：10月1日）

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (ポイント)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応 指数	蜜果率 (%)	蜜 入り 程度
黒石 (りんご 研究所)	本年	295	0.8	15.4	12.7	0.359	3.4	0	0
	平年	281	1.4	17.4	12.0	0.427	3.7	3	0.0
	前年	304	1.5	16.0	11.6	0.306	3.5	0	0

注1 平年：2001年～2020年の20か年平均

2 蜜入り程度：0～4（大きい数値ほど蜜入りが多い）

### ○ふじ（有袋）の熟度の進み

（調査月日：10月1日）

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (ポイント)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応 指数	蜜果率 (%)	蜜 入り 程度
黒石 (りんご 研究所)	本年	295	1.6	16.0	13.1	0.334	3.4	0	0
	平年	275	1.6	17.7	11.7	0.420	3.6	0	0
	前年	297	1.4	16.0	11.0	0.309	3.5	0	0

注1 平年：2003年～2020年の18か年平均

2 除袋日：9月20日外袋、25日内袋

### (3) 作業等の進み（10月3日現在）

早生ふじの収穫が行われている。

ジョナゴールド、ふじの除袋や葉摘みなど着色手入れが行われている。

## 2 作業の重点

### (1) 中生種の収穫

#### ア ジョナゴールド

熟度は5日程度進んでいることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月8日頃、無袋果が10月10日頃からと見込まれる。

収穫時期が早すぎると、貯蔵中のビターピットの発生が多くなるので適期に収穫する。無袋果は収穫時期が遅すぎると油あがりや貯蔵中の軟化、ゴム病の発生が多くなるので適期に収穫する。

### ジョナゴールドの収穫時の標準指標

	硬度	糖度	ヨード反応	食味
有袋	15～17ポンド	13%以上	2.5以下	3以上
無袋	14～16ポンド	13.5%以上	2以下	3.5以上

注) 食味：指数1（未熟）～5（非常に良好）

### イ シナノスイート

収穫時に地色が黄色く、油あがりが見られる果実は、心腐れ果の可能性が高いので、見つけ次第摘み取る。平年の収穫始めは10月10日頃である。

### シナノスイートの収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
13～15ポンド	14%以上	2以下	4以上

### ウ 千 雪

果皮色が濃紅色になった頃が収穫の目安である。着色が揃わない場合は2回に分けて収穫する。平年の収穫始めは10月18日頃である。

### 千雪の収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
17～19ポンド	14%以上	1.5以下	4以上

## (2) 山選果の徹底

山選果は、十分な明るさの下で、果実全体を確認して行う。

各地で日焼け果やさび果の発生が見られるので、出荷先の基準により選別・出荷する。

シンクイムシ類の被害果を流通させないために、収穫した果実は徹底して選別する。特にモモシンクイガによる、がくあ部付近の食入痕や滴痕を見逃さないように注意する。

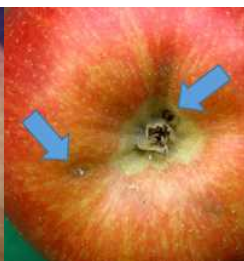
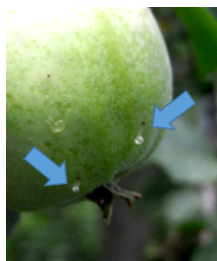


図1 食入痕及び滴 図2 白く乾燥した滴痕及び脱出痕 図3 脱出痕 図4 食害  
提供：(地独)青森県産業技術センターりんご研究所(図1～3：モモシンクイガ、図4：ナシヒメシンクイ)

### (3) 収穫した果実の管理

収穫した果実は、すみやかに冷蔵施設への搬入や出荷を行う。

### (4) 晩生種（黄色品種）の収穫

シナノゴールドなどの黄色品種は、収穫時期の判断が難しいので、「収穫時の標準指標」を目安に「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を利用して適期に収穫する。平年の収穫始めは、星の金貨が10月25日頃、シナノゴールドが10月26日頃、ぐんま名月が10月30日頃である。

### (5) 病虫害対策

#### ア 果実疫病（おそ疫病）

反射資材を片付ける際は、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土はあらかじめ洗い落としておく。

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。地面に落ちた果実は収穫した果実に混入しない。収穫した果実は長く野積みをしない。

#### イ 炭疽病、輪紋病

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

#### ウ 腐らん病

収穫時につる折れ、つる抜けとして残ったつるから病原菌が侵入するので、つるが果台に残らないように丁寧に収穫する。つるが残った場合は必ず果台から取り除く。

#### エ 黒星病

被害葉、被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

#### オ シンクイムシ類対策

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

#### カ ハマキムシ類対策

発生が多い場合は、果実に密着している葉を摘み取る。



▲「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」

【お問い合わせ先】

(公財) 青森県りんご協会  
電話 0172-27-6006

### (6) 風害対策

台風の接近や強風に備え、防風網やわい性台樹の結束状況などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

幹や主枝などに空洞が生じている樹や腐らん病の被害を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

### (7) 鳥害対策

ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が大きいところでは、防鳥網を使用する。防鳥網の網目は35mm以下とする。

### (8) 土壌乾燥対策

苗木や若木は乾燥の影響を受けやすいので、園地の状況を把握し、干天日（降水量5mm未満）が2週間程度続いたら、1㎡当たり20ℓ程度をかん水する。

また、草からの蒸散を防ぐため、草刈りをこまめに行い、樹冠下に敷き草する。

## 3 一般作業

- (1) 草刈り (2) 徒長枝整理、枝吊り、支柱入れ

## 4 今後の作業（10月21日～11月2日）

- (1) 晩生種の収穫 (2) 晩生種の着色手入れ (3) 樹上選果  
(4) 病虫害対策 (5) 風害対策 (6) 鳥害対策 (7) 野ネズミ対策

### 《 秋の農作業安全運動展開中！ 》

機械を使って作業を行う際は、焦らず、急がず、慎重に、を基本に事故のないよう十分注意しましょう。はしごの上で作業する時は、足場がしっかり安定しているか確認するとともに、天板の上には乗らないようにしましょう。園地に出かける際は、携帯電話を必ず持参し、家族などに行き先や帰宅時間を伝えてから出かけるようにしましょう。

### 《 「あおり9」の生果実流通 》

現在、「あおり9」は「彩香」の商標名で販売されていますが、令和7年10月27日で商標の使用契約が満了となり、「彩香」を使用できなくなります。

令和7年10月27日以降は、「あおり9」で販売してください。

### 《 農業保険に加入し、農業経営に万全の備えを!! 》

農業保険には、果樹共済、農業経営収入保険などがあります。自分の経営にあった保険を選択、加入して、自然災害をはじめとしたリスクに備えましょう。

詳しくは、お近くの農業共済組合まで、お問い合わせください。

---

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

---

次回の発行は令和5年10月20日（金）の予定です。